

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 株式会社KSK 上場取引所 東
 コード番号 9687 URL https://www.ksk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 信之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 川辺 恭輔 TEL 042-378-1100
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計） （%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,247	△0.3	561	14.7	829	63.4	556	64.8
2020年3月期第2四半期	8,268	7.8	489	△4.5	507	△3.8	337	△5.2

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 681百万円（115.1%） 2020年3月期第2四半期 316百万円（△3.6%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	92.85	91.21
2020年3月期第2四半期	56.78	55.56

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	15,978	11,728	72.4	1,940.31
2020年3月期	15,550	11,444	72.8	1,883.43

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 11,573百万円 2020年3月期 11,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	67.00	67.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	1.9	1,500	△7.0	2,000	21.1	1,330	22.8	222.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	7,636,368株	2020年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,671,786株	2020年3月期	1,629,571株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	5,995,575株	2020年3月期2Q	5,950,169株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言解除後には段階的に経済活動の再開が見られたものの、依然として経済活動は停滞し、非常に厳しい状況となっております。更に、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は一時膠着状態の兆しが見られたものの、その後欧州を中心に再び猛威を振るっており、収束の兆しがいまだ見えぬ中で、世界経済と金融市場にも深刻な影響を与えています。加えて米中対立激化の影響等、世界経済は景気後退が急速に進み、先行きは一層不透明な状況となっております。

当社グループが属する情報サービス産業界におきましても、新型コロナウイルス感染拡大の沈静化が見込めない中、先行きは不透明な状況となっておりますが、一方で、5Gやデジタルトランスフォーメーション(DX)等の「デジタル・シフト」への変容が活発化し、Withコロナ下における企業のテレワーク、サテライトオフィス推進に向けたクラウド環境整備や仮想化ニーズの高まり、サイバーセキュリティ強化等の需要がより一層高まってきております。

このような環境の中、当社グループでは社会的要請に応えつつ、稼働率の維持・改善並びに費用圧縮をはじめとする対策を講じ、原価率・販管費率の改善に努めてまいりました。また、新卒新入社員に対しては、感染予防対策を徹底のうえ、5ヶ月以上にわたる基礎教育を実施する等により、拡大する市場の需要へ機動的に対応できる体制づくりを整えてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,247百万円で20百万円の減少(前年同期比0.3%減)と前年同期比で減収となり、新人研修の長期化に伴う当第2四半期連結累計期間中の稼働率の低下等が影響し、売上総利益は1,533百万円で134百万円の減少(前年同期比8.0%減)と前年同期比で減益となりました。一方、コロナ禍における感染拡大防止の一環として採用活動を自粛していたこと等により販売費及び一般管理費が減少したことから、営業利益につきましては561百万円で71百万円の増加(前年同期比14.7%増)、新卒新入社員向け研修等に関する雇用調整助成金収入が加わったことから、経常利益につきましては829百万円で322百万円の増加(前年同期比63.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては556百万円で218百万円の増加(前年同期比64.8%増)と前年同期比で増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(イ) システムコア事業

通信機器部品の機構設計、医療装置の設計開発業務に関しては堅調に推移しております。一方、車載関連の半導体設計並びに組込ソフトウェア開発に関しては、市況の悪化に伴い受注量が減少したこと等から、売上高は1,548百万円(前年同期比0.6%減)、セグメント利益は321百万円(前年同期比11.9%減)となりました。

(ロ) ITソリューション事業

各種ソフト開発の需要が増加しております。一方、自社開発したパッケージソフトウェアに関しては、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、第1四半期連結累計期間は営業活動休止を余儀なくされました。当第2四半期連結累計期間において営業活動は徐々に再開しておりますが、本格再開には時間を要することから、売上高は1,986百万円(前年同期比4.9%減)となりました。一方費用面において、自社開発したパッケージソフトウェアに関しては改良や開発体制の整備への追加投資が一巡したこと等から、セグメント利益は184百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

各種ネットワークの新規構築や運用・保守業務の受注はコロナ禍においても堅調に推移していることから、売上高は4,712百万円(前年同期比2.0%増)となりました。一方、受注機会を的確に捉え、拡大する需要に対応できるよう人材育成に力を注いだ結果、新入社員の当第2四半期連結累計期間における稼働が遅れたこと等により、セグメント利益は845百万円(前年同期比11.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は10,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ600百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が837百万円、仕掛品が139百万円、有価証券が200百万円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が551百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は5,943百万円となり、前連結会計年度末に比べ171百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産であるソフトウェアが58百万円、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が50百万円、繰延税金資産が48百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は15,978百万円となり、前連結会計年度末に比べ428百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,790百万円となり、前連結会計年度末に比べ129百万円増加いたしました。これは主に、賞与引当金が181百万円増加した一方で、その他流動資産に含まれる未払消費税等が102百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,459百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が14百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は4,249百万円となり、前連結会計年度末に比べ143百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、11,728百万円となり、前連結会計年度末に比べ284百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が226百万円、その他有価証券評価差額金が114百万円増加する一方で、自己株式の取得により94百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ837百万円増加し5,797百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は1,288百万円（前年同期比844百万円増）となりましたが、これは主に税金等調整前四半期純利益の計上829百万円や減価償却費の計上95百万円、賞与引当金の増加181百万円、売上債権の減少551百万円などといった増加要因があった一方で、たな卸資産の増加141百万円、未払消費税等の減少102百万円、法人税等の支払額252百万円などといった減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は22百万円（前年同期比59百万円の支出減）となりましたが、これは主に有価証券の償還による収入1,300百万円などといった増加要因があった一方で、有価証券の取得による支出1,200百万円や投資有価証券の取得による支出100百万円などといった減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は429百万円（前年同期比161百万円の支出減）となりましたが、これは主に自己株式取得による支出100百万円、配当金の支払額330百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、直近の感染状況や経済動向を踏まえ、当第2四半期連結累計期間の業績及び現時点において入手可能な情報に基づいて、連結予想を算出いたしました。

詳細は2020年10月30日付で公表いたしました「通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,160	5,997
受取手形及び売掛金	3,461	2,910
有価証券	601	802
仕掛品	78	218
原材料及び貯蔵品	1	2
その他	133	105
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,434	10,035
固定資産		
有形固定資産	554	536
無形固定資産	171	117
投資その他の資産		
投資有価証券	4,455	4,405
その他	933	884
投資その他の資産合計	5,389	5,289
固定資産合計	6,115	5,943
資産合計	15,550	15,978
負債の部		
流動負債		
買掛金	197	164
未払法人税等	292	317
賞与引当金	1,126	1,307
工事損失引当金	1	0
その他	1,043	1,000
流動負債合計	2,660	2,790
固定負債		
退職給付に係る負債	1,204	1,218
資産除去債務	46	46
その他	194	193
固定負債合計	1,445	1,459
負債合計	4,106	4,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,661	1,665
利益剰余金	9,079	9,305
自己株式	△1,077	△1,172
株主資本合計	11,112	11,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	272	387
退職給付に係る調整累計額	△71	△62
その他の包括利益累計額合計	201	325
新株予約権	125	149
非支配株主持分	5	6
純資産合計	11,444	11,728
負債純資産合計	15,550	15,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	8,268	8,247
売上原価	6,600	6,713
売上総利益	1,667	1,533
販売費及び一般管理費	1,178	972
営業利益	489	561
営業外収益		
受取利息	9	11
受取配当金	4	4
助成金収入	0	250
その他	4	3
営業外収益合計	18	269
営業外費用		
支払利息	0	—
保険解約損	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	507	829
特別利益		
受取保険金	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	508	829
法人税等	170	272
四半期純利益	337	557
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	337	556

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	337	557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	114
退職給付に係る調整額	9	9
その他の包括利益合計	△20	124
四半期包括利益	316	681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316	681
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	508	829
減価償却費	97	95
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△138	181
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22	28
受取利息及び受取配当金	△13	△15
支払利息	0	—
助成金収入	△0	△250
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	0
受取保険金	△0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	568	551
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△44	△141
仕入債務の増減額 (△は減少)	△20	△32
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△63	△102
その他	△162	123
小計	751	1,266
利息及び配当金の受取額	25	23
利息の支払額	△0	—
助成金の受取額	0	250
法人税等の支払額	△334	△252
法人税等の還付額	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	443	1,288
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,300	△1,200
有価証券の償還による収入	1,500	1,300
有形固定資産の取得による支出	△56	△3
無形固定資産の取得による支出	△10	△16
投資有価証券の取得による支出	△413	△100
投資有価証券の償還による収入	200	0
その他	△1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△60	—
自己株式の処分による収入	26	1
自己株式の取得による支出	—	△100
配当金の支払額	△556	△330
財務活動によるキャッシュ・フロー	△590	△429
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△228	837
現金及び現金同等物の期首残高	4,243	4,960
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,015	5,797

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,557	2,090	4,620	8,268
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	27	7	35
計	1,557	2,117	4,628	8,303
セグメント利益	364	171	959	1,496

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,496
セグメント間取引消去	56
全社費用(注)	△1,063
四半期連結損益計算書の営業利益	489

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,548	1,986	4,712	8,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2	7	9
計	1,548	1,989	4,719	8,257
セグメント利益	321	184	845	1,351

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,351
セグメント間取引消去	61
全社費用(注)	△851
四半期連結損益計算書の営業利益	561

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。